

■国際姉妹都市クラムザッハを公式訪問

9月24日から30日まで、市の公式訪問団（宮澤市長、濱昭次市議会議員、橋渡教育長）が、市クラムザッハ友好会の皆さんと国際姉妹都市オーストリア・クラムザッハ町などを訪ねました。

今回の訪問では、町内の農家博物館で行われる祭り「キルヒターク」に参加し、交流を深め

たほか、クラムザッハ町長らと会談しました。会談では、青少年の相互交流や、民間交流の促進について意見交換しました。

また、今回の訪問と併せて、市が平成32年の東京五輪・パラリンピック大会でオーストリアのホストタウンに登録されたことから、ウィーンで在オーストリア日本公使や同国のカヌー連

盟役員と懇談も行いました。懇談では、本市の明科龍門瀨公園内にカヌーコースがあり、同国のカヌー選手と市民との交流や、文化交流が想定されることから、ホストタウンの取り組みについて意見交換しました。また、カヌー専用競技場も視察しました。



クラムザッハ町役場前での歓迎の様子

■天然温泉を活用 安曇野しゃくなげの湯が完成

新日帰り温泉入浴施設「安曇野しゃくなげの湯」のしゅん工式が10月3日、穂高有明の現地で行われました。

当日は、市や市議会などの関係者約80人が出席。宮澤市長は「市民の福祉、健康増進に寄与し、V i f（ビフ）穂高と連携し西山山麓の観光拠点施設になるよう期待したい」とあいさつ

しました。

建物は、地上1階、地下1階の鉄骨造りで、床面積は約1900平方メートル、豊富な天然温泉を活用した大浴場や露天風呂、家族風呂、地域交流活動の場に活用可能な多目的室、食堂などを備えています。また、建物には県産や安曇野市産の木材を使用し、床暖房に松枯れ材や間



テープカットの様子

伐材を利用した薪ボイラーを導入しています。総事業費は約14億4600万円で主な財源に合併特例債や都市再生整備計画事業交付金を活用しています。新たな市民の憩いの場、観光拠点としての役割が期待されます。

なお、完成により、老朽化した市営しゃくなげ荘と隣接する温泉健康館は廃止となりました。

■条文の具体的内容を検討 自治基本条例検討委員会を設置

市の自治の理念やルールを定める市自治基本条例（仮称）の制定に向け、具体的な条文について検討する「市自治基本条例検討委員会」の第1回会議が9月21日、市役所で開催されました。宮澤市長はあいさつで「条例は市のまちづくりの基本理念。持続可能なまちづくりのため検討をお願いしたい」と話し



第1回検討委員会の様子

ました。

当日は、有識者による委員5人に委嘱書が手渡された後、委員長に「自治基本条例制定市民会議」会長を務めた田村浩さんが選ばれました。

会議では、本年8月に「市民会議」が報告した条例に盛り込むべき内容（前文と30の項目）を基にした条例案を市の担当者

が示し、各条例の構成、前文、条文の位置付け、市民や区、まちづくりなど定義について、委員が意見を交わしました。

今後、検討委員会は4回ほど開催され、各条文の具体的な内容について検討結果をまとめ、本年12月に市長に報告する予定です。

■市が発注した工事 優良建設工事6つを表彰

市が発注し、昨年度しゅん工した189件の公共工事の中から6つの優良建設工事に対する表彰式を10月3日、豊科公民館で行いました。

当日は、受注した施工業者10社の代表者へ宮澤市長から表彰状が手渡されました。宮澤市長はあいさつで「近年、技術向上が著しく、各社の努力に感謝し

たい」と話しました。

この表彰は請負業者の育成、施工技術の向上を図ることを目的に、市の公共事業技術者研修会の開催に併せて行われています。

受賞者は次の施工業者の皆さんです。（敬称略）



受賞した皆さんと宮澤市長

●平成27年度優良建設工事受賞者

工事名	施工業者
平成26・27年度豊科公民館耐震補強・大規模改修工事建築主体工事	相模・佐原特定建設工事共同企業体
平成26・27年度豊科公民館耐震補強・大規模改修工事機械設備工事	日特・ニキ特定建設工事共同企業体
平成26・27年度豊科公民館耐震補強・大規模改修工事電気設備工事	TOSYS・有賀電気特定建設工事共同企業体
平成27年度三郷公民館・保健センター耐震改修、講堂音響改修工事	松本土建・丸山硝子特定建設工事共同企業体
平成26年度社会資本整備総合交付金事業明科5080号線道路改良工事	山崎建設株式会社
平成27年度豊科保育園大規模改修工事	株式会社武井組